

初めに。。。

1) 参加者が以下の事項に該当する場合は、試合には参加させない。

- ① 平熱を超える発熱がある。当日の体温が37.5度以上の人。
- ② 咳、咽の痛みなど風邪の症状がある場合。
- ③ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
- ④ 臭覚や味覚の異常がある。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性とされる者と濃厚接触がある場合。
- ⑥ 同居家族や身近な知人にコロナウイルス感染が疑われる方がいる場合。

⑦ 試合終了後2週間以内にもしも新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、シニア委員会事務局まで速やかに報告し濃厚接触者の有無・行動記録を報告すること。

運営に関わった人及び参加チームの中から感染者が出た場合は、JFAに報告いたします。

参加チーム・審判員・運営者用新型コロナウイルス対応 チェックリスト

大会名 事業名		試合日		会場名	
チーム名		代表者氏名		代表者連絡先	
チーム感染対策責任者氏名		チーム感染対策責任者連絡先			

2020年度愛知県サッカー協会シニアリーグ開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、以下について周知徹底してください。

No	主管FA、大会運営本部、参加チームはそれぞれ感染対策責任者を定める。	チェック欄
①	2020年度愛知県シニアリーグ戦感染対策責任者は公文昌人シニア委員長とする。	✓
②	運営本部は各カテゴリー事務局が感染対策責任者とする。	
③	チームにも感染対策責任者を置く	
No	参加者が留意すべき事項・参加チーム感染対策責任者の確認事項	チェック欄
①	チーム内において感染対策責任者を定め、本チェックシートの内容をチーム全員に把握させる。感染対策責任者の氏名、連絡先を申告する	
②	競技会に参加する全てのチームの選手の中に濃厚接触者として2週間の健康状態観察中の人がないことを確認する。	
③	チーム内の感染対策責任者は、試合当日の本チェックリストと健康チェックシート(別紙)を運営本部(事務局・当番チーム)に提出してください。	
④	健康状態チェックで準備段階で体調が悪い人がいた場合は、すぐに帰宅させる。	
⑤	帰宅後14日以内にチームの中から感染者が出た場合は、主管FAの感染対策責任者に速やかにその旨伝える。	
No	当日審判担当者への確認事項(試合前・試合中・試合後の留意点を確認ください)	チェック欄
①	試合でのセレモニエでの握手の禁止。両チーム、審判との握手も実施しない。	
②	前の人の呼気の影響を避けるため試合開始前の挨拶は横一直線に並び、試合前・試合後の握手は禁止。プレー中のハイタッチも禁止。	
③	試合前のチーム集合写真撮影は行わない。	
④	試合前のセレモニエを控えてもらい、コイントスもキャプテン同士の距離を2m以上確保する。	
⑤	ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。	
⑥	審判員は用具チェックを両チームのロッカー付近、または場外で行う。審判員は用具チェック中マスクを着用する。	
No	参加チーム選手の皆さまへの確認事項(試合前・試合中・試合後の留意点を確認ください)	チェック欄
①	試合に関わる全員が感染対策を認知し、準備段階からマスクの着用、手洗いの敢行を行う。	
②	当日37.5℃以上発熱がある場合はピッチ上には入らないでください。	
③	換気の励行(こまめに窓をあけ、空気の入換をする)。	
④	試合会場のロッカールームが狭い、換気がしにくい構造の場合、別の部屋を準備するか屋外(ピッチ脇など)で着替える。	
⑤	更衣室、ミーティングルーム等を集団で使用する場合は、会話は極力控えマスク着用のこと。	
⑥	全て諸室のドアを全て開けた状態に保つ。(換気、ドアノブを触らないよう配慮。)	
⑦	発熱症状がなくても、体調異常がある場合は、必ず監督に申し出て、大会への参加を見合わせる等の対応をしてください。	
⑧	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。またはコロナ感染陽性とされたものとの濃厚接触が疑われる場合も参加を見合わせください。	
⑨	監督・コーチ・ベンチにいる選手は試合中でもマスク着用のこと。	
⑩	こまめな手洗いの励行、アルコール等による手指消毒を実施する。	
⑪	円陣を行わない。	
⑫	得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。	
⑬	試合中も大きな声で会話をしないこと。	
⑭	ベンチ、観戦での参加者、監督、コーチとの距離はできれば2m以上を確保すること。	
⑮	試合でのセレモニエでの握手の禁止。両チーム、審判との握手も実施しない。	
⑯	ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。	
⑰	ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。	
⑱	同じボトルを他の選手と共有せず、口に含んだ水をピッチ内に吐かない。	
⑲	タオル等、リネンを他の選手と共有しない。	
⑳	更衣室など窓を開け、更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。	
㉑	試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分する。	
㉒	前日及び当日に体調の悪い人は各チーム感染責任者に申し出て会場には来ない。	
㉓	帰宅後14日以内にチームの中から感染者が出た場合は、主管FAの感染対策責任者に速やかにその旨伝える。	
No	運営スタッフへの確認事項(試合前・試合中・試合後の留意点を確認ください)	チェック欄
①	スポーツを行っていない方(関係者・監督・コーチ)のマスク着用の励行ください。	
②	会場で運営に携わる人全員が運営準備段階からマスクを着用していることを確認する。	
③	試合に関わる全ての人の試合当日に健康チェックシートを提出してもらい健康状態チェックを行う。	
④	試合前のチーム集合写真撮影は行わない。	
⑤	試合運営に関わる全員が感染対策を認知し、手洗いの敢行を行う。	
⑥	健康状態チェックで準備段階で体調が悪い人がいた場合は、すぐに帰宅させる。	
⑦	怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。	
⑧	ピッチからの退場時はおんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。	
⑨	帰宅後14日以内にチームの中から感染者が出た場合は、主管FAの感染対策責任者に速やかにその旨伝える。	

自粛期間が長くあり体力の減退がみられ激しいプレーは怪我を誘発することもありますので、お互い相手選手にはリスペクトの精神を忘れず怪我防止を心がけてください。

